

## 2022年度 事業報告

特定非営利活動法人相模原ボランティア協会

### 《概要》

2022年度は、2020年1月に上陸したコロナ感染症は相変わらず治まらず第7波、第8波と続きました。当協会も感染者が数人出ましたが、全員軽症で完治しました。

理事会は欠員の1名を市社協から阿部氏に就任していただき8人体制となりました。

事業について、「ハンディキャブ事業」は稼働状況が芳しくないこと、11号車の車両不良など問題を抱えています。「傾聴事業」はコロナ禍などにより需要が減少しており地域包括支援センターなどへのPRを検討し声掛けを始めました。「講座事業」は夏講座として3日間の傾聴講座を開催し、春講座は2023年3月に“SDGsとボランティア活動”をテーマに開催しました。「広報委員会」は、ぼらんていあ通信の発行、見やすいホームページなど精力的に活動し、ぼらんていあ通信の発送にはさがみはら若者サポートステーションの協力を得ています。その他「DVD制作実行委員会」や「ボランティア派遣事業」は順調に推移しております。また、事務局の強化や財源問題は難しい問題ではありましたが、事務局員や切手グループのご努力でこのコロナ禍の中大過なく業務を遂行することができました。

「交流事業」では10月の「ほかほかふれあいフェスタ2022」は盛会裏に開催しましたが、コロナ禍の影響で4月の「市民桜まつり」は開催されず、2023年2月の「新春ボウリング大会」は中止、11月の「障害者週間キャンペーン」は雨のため中止しました。ただ、6月には「SDGsを学ぶ」というテーマで大野南中学校の2年生を招いてボラ協の事業説明をし、学生と意見交換をしました。また2023年3月には「地域活動マッチング相談会」に参加しました。

以上のように事業を進めてまいりましたが、これは会員の皆様のご協力なしにはできなかつたことです。ここに改めて会員の皆様に厚くお礼申し上げます。

### 《特定非営利活動にかかわる事業報告》

#### 1. ボランティア活動の総括

コロナ禍の中ではありましたが、ボランティア団体、市社会福祉協議会、行政との協働のもと、移送援助活動や日常生活支援などを通して障がい者、高齢者の社会参加を拡大していくことを目指しました。さらに「協会らしい」事業として住まい探しや就労支援のお手伝いも実施しました。そして事業運営円滑化のための事務局の増強、財源確保のための活動を行いました。ボランティア養成講座は感染予防対策を講じた形での実施となりました。

#### 《ボランティア動員数》

	利用者数 (年間延人数・回数)	ボランティア (年間延人数)		備 考
		協会員	その他	
HC事業活動	1,130名	795名		運転及び介助ボランティア
交流事業				
・市民桜まつり	—	—	—	中止
・ほかほかふれあいフェスタ (障害者週間キャンペーン)	1,500名	10名	180名	中止
・新春ボウリング大会	—	—	—	中止
傾聴ボランティア活動	181回	370名		対象者21名、活動者30名、
ボランティア養成講座	122名	47名	—	

広報活動	—	133名	56名	月刊、季刊誌、ホームページ
事務局	—	730名	庶務 382人・HC調整業務 348人(月～土)	

## 2. 高齢者、障がい者への援助活動

### (1) ハンディキャブ運行事業

単独で外出困難な人々の支援を行うために2台の車いす対応車両とセダン型車を活用して「安心と安全を運ぶ」をモットーに延べ795回に及ぶ運行を行いました。依然として新型コロナウイルス感染の波が継続している状況を踏まえ、車内の消毒・換気、運転者・利用者に対する検温・手指消毒といった感染対策を徹底の上運行事業を継続しました。また2022年4月から施行されたアルコールチェックにも対応しました。その他小中学校の「みんないいひと体験講座」にも参加をしています。

《2022年度の運行実績》

運行種類	内 容	件 数	利用者数	運転ボラ	介助ボラ
一般運行 (内セダン型運行)	通院・外出 ・買い物等	795件 (286)	1,130名 (362)	795名 (286)	0名 ( 0)
学校協力事業	体験学習など	1件			

#### [ハンディキャブ新規利用者訪問]

事務局の活動として行う新規利用者訪問はHC運行事業の基本となるもので、訪問時に「申し込みのキッカケ」を聞き、身体状況の把握、利用の必要性、利用の目的などを把握して、利用会員入会申込を受付けます。2021年度に訪問を保留した8件を含めて対応しました。訪問の回数及び入会者数の増加に伴い運行調整が難しくなり、運転ボランティアの増員が必要になっています。

2023年3月1日現在の利用会員総数は57名となっています。

#### ・新規利用者訪問実施状況

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
申 込	19	19	12	25	33
訪 問	11	14	5	5	23
訪問者延人数	22	28	5	10	44
入 会	9	13	5	5	17

### (2) ボランティア団体とのネットワークづくりと交流事業の開催

ボランティア団体とのネットワークづくりについては、ぼらんていあ通信でボランティア団体を紹介する記事を掲載しました。

市民桜まつり・新春ボウリング大会は中止となりましたが、ほかほかふれあいフェスタは規模を縮小する形ではありますが3年ぶりに開催することができました。

#### (イ) 市民桜まつり

市民桜まつりは開催中止となりました。

#### (ロ) ほかほかふれあいフェスタの開催

障がい者、ボランティア、市民との交流を目的とする「ほかほかふれあいフェスタ2022」は、10月15日に例年より規模を縮小した形で3年ぶりに開催しました。

11月26日には障害者週間にちなんで、サンデッキ相模大野で障がい福祉に関する市民の関心と

理解を得るためのイベントを開催する予定でしたが、雨天により中止となりました。

#### (ハ) 障がい児者とのボウリング大会

毎年恒例となっている障がい児者との新春ボウリング大会を2月18日(土)に開催することで10月から準備を始めました。しかし、コロナ禍の状況に鑑みて11月に主要作業所・事業所に参加を打診したところ不参加の意向であるためにやむなく開催を中止しました。

### (3) 傾聴活動

当協会は、2014年度から居宅訪問型の傾聴ボランティア活動を開始しました。外出も少なく、人と話す機会が極度に少なく孤立し、孤独になりがちな方を対象とし、月1回1時間程度、2人で訪問しお話を聴いています。単にお話を聴くということですが、家族やケアマネジャーには話せないこと、繰り返し、繰り返し話してもまだ話したい事などを丁寧に聴きます。介護保険などの制度には傾聴活動は含まれておらず、制度にない狭間をボランティア活動でカバーしています。利用の問い合わせは各地域包括支援センター、市社協ボランティアセンターや居宅介護事業所ケアマネジャーからとなっていますが、最近では、稀に自ら当協会を探し出して問い合わせをしていただくこともあります。

しかしながら、このところのコロナ禍の影響もあってか、利用件数が頭打ちになっています。今後は傾聴を必要とする方々にいかに巡り会うか検討の余地があります。2022年度は、181回の傾聴活動を計画し、利用者は21名でした。直近5年間の傾聴活動の推移は次の通りです。

#### 《直近5年間の傾聴活動の推移》

年度	活動件数	実利用者数	実活動者数	延べ活動者数	直前中止件数
2018	158	22	32	354	27
2019	222	23	32	433	36
2020	127	19	26	266	24
2021	206	24	28	420	26
2022	181	21	30	370	25

### (4) 就労困難な方々への社会参加の機会づくり

NPO法人文化学習協同ネットワークが運営している「さがみはら若者サポートステーション」に対する支援・協力の一環として同組織を利用している若者が来所し、当協会が発行している「ぼらんていあ通信」の発送業務(発行物の四つ折り、封入、切手貼り等)を発送ボランティアと一緒にしています。作業を通して気軽に会話を交わすことで、職場での対人関係の育成訓練に寄与する事を目的としています。2022年度は延べ人数56名の参加がありました。

なお、2022年度は、10月15日に開催の「ほかほかふれあいフェスタ2022」に際して同フェスタのポスター制作および当日はボランティアとして7名にお手伝いをいただきました。

注) さがみはら若者サポートステーションとは:

通称「さがみはらサポステ」と言い働くことを中心に自立を目指す若者の“新しい自分づくり”と“しごと探し”を応援している組織

### (5) 家具転倒防止のための援助活動

高齢者や障がい者を対象に家具転倒防止のための援助活動を相模原災害ボランティアネットワーク(SSVN)と協働実施しています。

2022年度は4件の相談があり、1件実施済み、2件は対応策を説明で完了、1件は継続案件となっています。

この活動は市危機管理課が作成している自治会向けのチラシにボランティア協会の活動として紹介されています。

### (6) 住まい探しのための援助活動

相模原市の高齢者等住まい探しの相談事業の窓口である公益社団法人かながわ住まいまちづくり協会(まち協)からの要請による「住まい探しサポーター」として当協会の正会員を派遣しています。

2022年度、相談会は6回開催され、延べ12名を派遣しました。

なお、2020年度に設立された相模原市居住支援協議会に当協会も役員として参加しています。

## 3. ボランティア養成に関する活動

かつて相模原方式と呼ばれた、基礎講座とコース別講座からなる総合的なボランティア養成講座は、協働で開催してきた各ボランティア団体の状況の変化もあって、現在は毎年、内容や講座の方式を検討しながらその都度企画する開催方式となっています。今年度の夏は協会の主要活動である傾聴を扱った3回にわたる傾聴ボランティア講座を開催し、春講座はボランティア見本市 Part2 として、SDGsに関連付けてボランティア活動を紹介する講座を行いました。

### <傾聴ボランティア養成講座>

開催日 : 2022年7月9日、16日、23日(土)午後、3回シリーズ

開催場所: あじさい会館6階展示室

受講対象者: 傾聴ボランティア活動に関心のある方

参加者数: 一般の参加3回合計97名、講座担当者41名

受講者のうち、11名が協会に入会し、活動体験、活動担当へと移行しつつある。

### <ボランティア見本市-Part2 新しいボランティアのかたち>

開催日 : 2023年3月25日(土)午後

開催場所: あじさい会館6階展示室

受講対象者: これからボランティア活動をしてみたい方に新しい活動事例を紹介し、相談を行う。

参加者数: 一般の参加合計25名、講座担当者6名、講師陣8名

相模原市のSDGs推進室の協力も得て、SDGsのこと、様々な新しいボランティア活動のことを体験談として各団体からお話いただきました。終了後には、各団体への個別質問のコーナーも設けました。

## 4. 情報発信に係わる事業

協会の活動を皆さまにお伝えするために、広報誌「ぼらんていあ通信」を毎月発行しています。また、ホームページ、Facebook、インスタグラムなど、SNSでの発信にも力を入れていて幅広い方々に情報をお伝えしています。

「ぼらんていあ通信」は1981年以来、毎月かかさず発行していて、2023年3月で通巻496号となりました。協会や会員の活動報告、クイズやイラストなどに加え、市内で活動しているボランティアグループなどを取材し、協会や会員にとってもステップアップにつながる情報を提供させていただいています。会員を始め、市内の学校や公民館、福祉施設などの公共機関、またボランティア団体やメディアなどに配布していて、封入作業などは、さがみはら若者サポートステーションの皆さまにお手伝いいただいています。

協会のホームページは、協会会員がスキルアップを重ね、2021年からは会員の手でホームページを運営しています。イベントのご案内や報告などを、会員を始め多くの皆さまにお届けしています。また、2021年12月には相模原市SDGsパートナーに参加しました。ホームページでは、SDGsに対する協会の取り組みなども詳しくお伝えしています。

相模原市民が自由に利用できるポータルサイト“さがポ”にも、協会のホームページを開設していて、情報発信に努めています。

Facebookは、近年SNSでの情報発信の需要に応じ、2021年9月に開設しました。情報誌「ぼらんていあ通信」や、イベント情報、ボランティア募集など協会の活動を広く伝えられるようタイムリーな情報発信を行っています。

2023年2月にはInstagramも開設し、若者の読者を広げるべく情報活動に努めています。FacebookもInstagramもホームページにリンクを貼っていますのでご覧ください。

## 5. 外部会議等への参加

当協会は、相模原市の社会福祉審議会、精神保健福祉審議会、地域福祉推進協議会、福祉のまちづくり推進協議会、防災市民会議、居住支援協議会、市社会福祉協議会のボランティア・市民活動団体部会の委員を委嘱され派遣しています。さらに社会福祉事業団の監事も委嘱されています。

また、相模原災害ボランティアネットワーク（SSVN）の運営委員として、SSVNの運営に係わっています。

## 6. その他の事業

### (1) 法人運営、HC調整のための活動

法人運営と日常の連絡調整を行うための事務局についてはあじさい連絡所で運営しています。事務局員や事務局サポーターの大きな協力のもと推進してきましたが、組織に必要な配置が十分できておらず、より一層の強化が必要です。

また、市社会福祉協議会の中央ボランティアセンターとの連携を取りながら円滑な運営に努めています。事務局運営体制の整備、役割分担については、依然として継続課題となっています。また役割分担については理事会において継続検討事項となっています。

### (2) 活動財源確保のための活動

会員の皆様には認定NPO法人制度を利用した寄付促進の説明をぼらんていあ通信に掲載しました。また、イオングループの「幸せの黄色いレシートキャンペーン」へ参加しています。

### (3) 新規正会員勧誘の活動

ボランティア養成講座の最終日に協会の説明および申込み窓口を開設し、新規会員の獲得推進を行いました。

当協会のホームページ、市民活動サポートセンターの紹介資料にも会員募集を掲載しました。

《直近5年間の正会員数推移》

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
正会員数	116名	115名	110名	110名	115名
当年度入会者数	11名	15名	4名	4名	15名
前年度退会者数	13名	16名	9名	4名	10名